

豊川小だより

6月号

ホームページ
QRコード



令和6年6月3日
北区立豊川小学校
校長 中村 順子

「素敵な表情 ^{しちへんげ}七変化」

校長 中村 順子

授業開始前の校長室、毎日各学級の日直や当番の児童が、健康観察表を届けに来ます。「失礼します！〇年〇組の〇〇 〇〇です。健康観察表を届けに来ました。」と、どの学年の児童も礼儀正しい中にも少し緊張した表情を見せてくれます。その後私からの新聞記事を用いたお手紙を受け取り、数言かわした後「ありがとうございました。失礼しました。」と一礼をして教室に戻っていきます。最近1年生も大変上手に言うことができるようになりました。この光景を保護者の方が見るのがあったならば、家庭ではなかなか見られないであろう立派な「外の顔」に驚くのではないかと思います。児童にとって、校長室は少々緊張の場であるようですが、その気持ちにふさわしい礼儀作法ができてきていることに、私は常々感心しています。

*

5月当初の運動会練習開始の頃は、まだお世辞にも緊張感があるとは言えない表情の児童が多く見られたのですが、練習を重ねるにつれて、「もっと楽しく踊りたい」「かっこよくするにはどうすればいいかな」「お客様に喜んでもらえるようになりたい」と様々な思いが芽生えたことで、練習のときの表情が引き締まっていく様子が手に取るように感じられました。

そして本番の25日。日頃校長室で見ている姿とはまた違った表情で、子供たちは瞳を輝かせ、頬を紅潮させながら躍動していました。たくさんの拍手をいただいたことによって達成感を得たからこそその自信があふれ、輝きを放っているようにさえ見えました。

*

子供は、小さい頃は誰に対しても同じ表情をしますが、年齢と共に、園や学校で、友達同士で、そして家庭でと、それぞれで見せる顔が増えていきます。それは社会性が身についてきたからこそその成長の証でもあるでしょう。学校でも、校長室、教室、友達、異学年交流、そして運動会のような大きな行事と、その場面ごとに違う表情を見せる子供たちです。今回の運動会を通して、保護者や地域の皆様に、豊川小の児童の素敵な表情を改めてお伝えすることができたのではないのでしょうか。そのことがご観覧の皆様に届いていたならばうれし限りです。

*

コロナ禍前と比べ児童数が約100人増えたことにより、観覧いただく保護者の方の人数も延べ200人以上増えることを見込み、観覧のための教室として、昨年度よりも多い3階3教室分を増設しました。また本校ならではの遮光ネットを使った児童席用の日よけを多めに設置したことなど、よりよい開催に向けて努力いたしました。まだまだ十分な対策とは言えないところがあったかもしれませんが、しかし、多くの保護者の方々や地域の皆様からたくさんの温かい声援をいただく中で、スローガンの「パワーと笑顔があふれる運動会」の成功を願いながら、精一杯演技をした子供たちのことを、私は大変誇りに思います。

支えてくださった保護者や地域の皆様には感謝を申し上げますと共に、今後も本校の教育活動に多くのご理解をいただきますよう、お願い致します。



ふれあい月間について

6月は「いじめ防止」に向けた取組を充実させる「ふれあい月間」です。豊川小では、WEBQU（心についてのアンケート）を実施し、いじめに悩む児童への早期対応を行うと共に、教職員は「学校いじめ防止基本方針」に基づいたこれまでの取組について振り返りを行ってまいります。（生活指導担当 永井裕也）

スクールカウンセラー来校日

藤村SC…6月6日、20日

内田SC…6月4日、11日、18日、25日

スクールカウンセラーとの相談を希望される方は、学校または専用電話にご連絡ください。

080 (3407) 3502 (藤村SC)